

精神保健看護学研究室（武用研）

研究活動

【こころの健康問題を持つ人への援助方法に関する研究】

- ①精神看護に関連する理論や心身相関の視点を応用し、あらゆる発達段階にある人々の精神的健康問題への支援に関する研究
- ②リハビリ志向に基づいて、精神疾患を持つ人々が望む生活を実現するための支援に関する研究
- ③精神看護の実践を意味づけし、ケア技術を明らかにしていく研究
- ④ポジティブ心理学を応用した看護技術の開発やICTを利用した看護技術の開発など、産学官連携を意識した研究

【援助者のこころの健康を保つ援助方法に関する研究】

- ⑤援助者の惨事ストレスの予防
- ⑥共感疲労を軽減するための研究

【その他】

精神看護

リエゾン精神看護

関連学問領域との連携

産学官連携

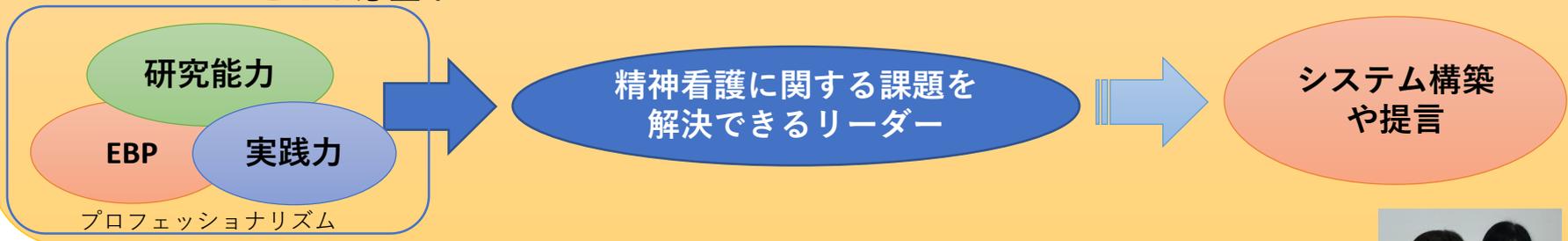
ゼミの特徴

- ①豊富な実践に基づいたリサーチクエスト
(精神看護/リエゾン精神看護・心身相関の視点からの研究)
- ②根拠に基づいた実践(EBP)の明確化
- ③お互い/関連学問領域の尊重
- ④プロフェッショナリズムの向上
(多職種連携・他大学/他学部との合同ゼミ)
- ⑤実践力：JANPU-NP養成コース
 - プライマリケア領域のNP
 - (身体もこころも診る・看る)
 - 精神科看護師がフィジカルアセスメントを極める

武用研で目指す人材育成

こころの健康問題を持ちながらもその人が望む生活の実現

- 社会情勢：○2040年問題を見据え、地域共生社会に向けた包括的支援体制の構築の必要性
○こころの健康問題を持ちながら地域で生活できる支援のあり方をハイスピードで模索することが必至！



連絡先：武用百子（ぶよう） momo-bu@sahs.med.osaka-u.ac.jp

